

シラバス参照

原典で読む日本の思想('24)

Reading the Classics of Japanese Philosophy('24)

主任講師名: 頼住 光子(東京大学大学院教授)

【講義概要】

たがいに異なる価値観がぶつかり合う、混迷の現代を生きるわれわれにとって、一つの大きな示唆を与えてくれるものとして、日本人がこれまで築き上げてきたさまざまな思想がある。本科目においては、古代から近代に至る日本の思想の歴史の上で、とりわけ重要であると思われる思想や著作を取り上げて解説する。その際、原典を丁寧に読解しながら、そこにはどのような人間や世界に対する見方や考え方が含まれているのかを明らかにする。そして、それを通じて、そのような見方や考え方が現代のわれわれにどのような示唆を与えるのかもあわせて検討する。

【授業の目標】

- 1 古代から近代にいたる日本思想史の流れの全体像を把握する。
- 2 日本思想史上で重要な思想家、著作について、原典に基づいて理解を深める。
- 3 日本の思想を理解する上で基本的な概念を理解し、それが現代にどのような示唆を与え得るのかを考察する。
- 4 世界の思想の流れの中で、日本思想はどのような意味を持つのかを考察する。

【履修上の留意点】

特定分野の予備知識は特に必要ない。

※この科目は、人間と文化コース開設科目ですが、社会と産業コースで共用科目となっています。

各回のテーマと授業内容

第1回 はじめにー日本の思想をどのように捉えるのか

まず、本科目全体の狙いと構成について解説する。その上で、古代から近代までの日本思想史を概観し、日本思想史を考える観点を示す。その際、日本人が伝統的に、世界や人間をどのようなものとして理解してきたのか、何を価値あるものとし、生きる意味を何に求めてきたのかなど、これからの講義の前提となる基本的な知識を与える。

【キーワード】

自己と世界、本質主義と構成主義

執筆担当講師名: 頼住 光子(東京大学大学院教授)

放送担当講師名: 頼住 光子(東京大学大学院教授)

第2回 古代① 『古事記』の世界

我が国現存最古の文献である『古事記』を取り上げて、そこから読み取れる世界観や人間観を考察する。特に、天地初発やムスビの神、スサノヲの造形に注目して検討する。

【キーワード】

天地初発、ムスビ、イザナキとイザナミ、アマテラスとスサノヲ、天孫降臨

執筆担当講師名: 頼住 光子(東京大学大学院教授)

放送担当講師名: 頼住 光子(東京大学大学院教授)

第3回 古代② 仏教の伝来と仏教説話

日本に仏教が伝来し、どのように受容されたのかを文献資料や美術作品などの資料を手がかりに解説する。特に、聖徳太子作と伝えられる「憲法十七条」の各条の意味を検討するとともに、『日本霊異記』などの仏教説話を紹介しその意義を解説する。

【キーワード】

「十七条憲法」、法隆寺金堂釈迦三尊像、「玉虫厨子」、本生譚、『日本霊異記』

執筆担当講師名: 頼住 光子(東京大学大学院教授)

放送担当講師名: 頼住 光子(東京大学大学院教授)

第4回 古代③ 平安仏教の展開ー最澄と空海

奈良仏教が大陸や半島の仏教を移植した都市仏教だったのに対し、日本的特性の色濃く見られる山岳仏教である平安仏教について最澄と空海を中心として解説する。

【キーワード】

南都六宗、天台宗、真言宗、山岳信仰、三一権実論争、大乘戒、即身成仏、曼荼羅

メディア	ラジオ
放送時間	2024年度 [第1学期](日曜) 15:45~16:30
単位認定試験提出方法	Web
単位認定試験期間	2024/07/14 09:00 ~ 2024/07/22 17:00
学習センター試験日/時間	2024/07/17 7時限 (16:45~17:35)
学部・院	教養学部
科目区分	('24カリ) コース科目 専門科目 人間と文化
科目コード	1559362
ナンバリング	320
単位数	2単位
単位認定試験平均点	
インターネット配信	あり
改訂回	なし
改訂内容	
履修制限	

<p>執筆担当講師名: 頼住 光子(東京大学大学院教授) 放送担当講師名: 頼住 光子(東京大学大学院教授)</p>
<p>第5回 古代④ 歌と物語の世界</p> <p>『万葉集』などの和歌や、『源氏物語』などの物語文学を取り上げて、原典にそって内容を解説する。そして、そこから読み取れる古代日本人のものの見方や感じ方を検討する。</p> <p>【キーワード】 額田王、柿本人麻呂、大伴家持、無常観と無常感</p> <p>執筆担当講師名: 頼住 光子(東京大学大学院教授) 放送担当講師名: 頼住 光子(東京大学大学院教授)</p>
<p>第6回 中世① 浄土の思想と文化</p> <p>まず、インド以来の浄土信仰の歴史を概観する。その上で、日本の浄土信仰の展開について、源信、法然、親鸞、一遍を取り上げてその生涯と思想を解説し、浄土信仰のものの考え方を検討する。</p> <p>【キーワード】 阿弥陀仏、念仏、『往生要集』、専修念仏、『選択本願念仏集』、二種深信、自然法爾、踊念仏</p> <p>執筆担当講師名: 頼住 光子(東京大学大学院教授) 放送担当講師名: 頼住 光子(東京大学大学院教授)</p>
<p>第7回 中世② 禅の思想文化と『法華経』信仰</p> <p>禅の歴史について説明した上で、「日本思想史上、最高の思想家」ともいわれる道元の思想の構造を、道元の著作を手がかりとして解説する。また、禅がの日本文化への影響についても、茶道などの具体的な例を挙げながら言及する。日蓮の生涯と思想についても説明する。</p> <p>【キーワード】 『正法眼蔵』、天台本覚想、わび茶、『開目抄』</p> <p>執筆担当講師名: 頼住 光子(東京大学大学院教授) 放送担当講師名: 頼住 光子(東京大学大学院教授)</p>
<p>第8回 中世③ 伝統芸能の思想 — 謡曲をめぐる</p> <p>能を中心とした日本の伝統芸能の思想について解説する。とくに能の台本である謡曲を取り上げて、そこに見られる日本人の死生観、世界観などの伝統的なものの考え方を検討する。</p> <p>【キーワード】 世阿弥、複式夢幻能、シテとワキ、諸国一見の僧、「弓八幡」、「鶴」</p> <p>執筆担当講師名: 頼住 光子(東京大学大学院教授) 放送担当講師名: 頼住 光子(東京大学大学院教授)</p>
<p>第9回 中世④ 隠遁と漂泊の思想</p> <p>俗世を退き、草庵で自らの理想的な生の実現を目指した隠遁者によって担われた思想・文化について解説する。特に『日本往生極楽記』等の記述をてがかりとしてその思想を検討し、遁世僧としての明恵や叡尊の活動を紹介する。</p> <p>【キーワード】 陶淵明、桃源郷、西行、鴨長明、慶滋保胤、二重出家</p> <p>執筆担当講師名: 頼住 光子(東京大学大学院教授) 放送担当講師名: 頼住 光子(東京大学大学院教授)</p>
<p>第10回 中世⑤ 中世思想の諸相 — 神道の展開と歴史思想</p> <p>応仁期に仏教からの独立を果たした吉田神道をはじめ、中世の多様な神道思想について解説する。さらに中世に発達した歴史思想についても、原典にそって検討する。</p> <p>【キーワード】 本地垂迹、神道五部書、吉田神道、『愚管抄』、『神皇正統記』</p> <p>執筆担当講師名: 頼住 光子(東京大学大学院教授) 放送担当講師名: 頼住 光子(東京大学大学院教授)</p>
<p>第11回 近世① 武士の思想</p> <p>武士の発生と歴史を辿りながら、「武者の習い」と呼ばれた、武士特有の戦闘者としての道徳規範について、代表的な文献を取り上げながら解説する。特に武士における「自己確立の道徳」を多角的に検討する。</p> <p>【キーワード】 「武者の習い」、「献身の道徳」、『葉隠』、明治武士道</p> <p>執筆担当講師名: 頼住 光子(東京大学大学院教授) 放送担当講師名: 頼住 光子(東京大学大学院教授)</p>
<p>第12回 近世② 儒教の思想</p>

近世の儒教思想について、その代表的思想家である伊藤仁斎と荻生徂徠の原典を取り上げて解説する。特に、朱子学批判に着目して儒教の日本的展開を解明する。あわせて、古代以来の儒教の日本における受容と展開についても検討する。

【キーワード】

憂き世と浮き世、世俗化、朱子学、伊藤仁斎、荻生徂徠

執筆担当講師名：頼住 光子(東京大学大学院教授)

放送担当講師名：頼住 光子(東京大学大学院教授)

第13回 近世③ 国学の思想

代表的国学者である本居宣長や平田篤胤の原典を取り上げて解説する。特に彼らが理想とした、外来思想が入る以前の日本古代のあり方とは何かを検討する。

【キーワード】

本居宣長、『石上私淑言』、平田篤胤、『靈之真柱』

執筆担当講師名：頼住 光子(東京大学大学院教授)

放送担当講師名：頼住 光子(東京大学大学院教授)

第14回 近代① 日本近代の思想 I

まず、日本の近代思想を概観する。その際、「近代的自我」に着目して、それに関する思索の展開を、福沢諭吉などの啓蒙の系譜と、ロマン主義など近代文学の発展に即して説明する。併せて、清澤満之と綱島梁川の生涯と思想についても解説する。

【キーワード】

自由民権運動、中江兆民、ロマン主義、北村透谷、福沢諭吉

執筆担当講師名：頼住 光子(東京大学大学院教授)

放送担当講師名：頼住 光子(東京大学大学院教授)

第15回 近代② 日本近代の思想 II

近代社会における諸矛盾を超えようとした諸思想を検討する。まず、近代的自我に依拠したキリスト教と社会主義運動を説明し、近世国学の流れを汲みつつ近代日本の問題を引き受けようとした民俗学を解説する。その上で、独自の共同体論を展開した和辻哲郎と折口信夫についてその生涯と思想を解説する。

【キーワード】

内村鑑三、西田幾多郎、柳田国男、吉本隆明、和辻哲郎、折口信夫、

執筆担当講師名：頼住 光子(東京大学大学院教授)

放送担当講師名：頼住 光子(東京大学大学院教授)

[戻る](#)